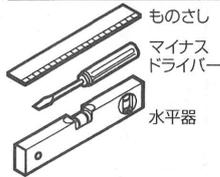


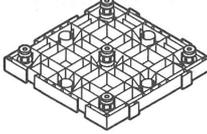
デッキ材の 高さ調整の しかた

用意する道具

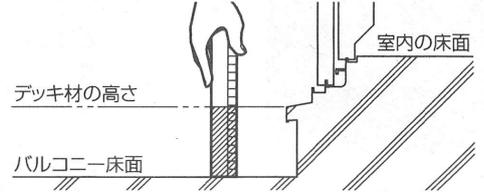


ベース材の状態

裏面にしてください

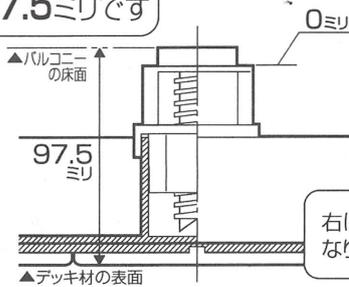


① ものさしで、サッシの下枠とバルコニー床面との段差を測りデッキ材の高さを決めます。

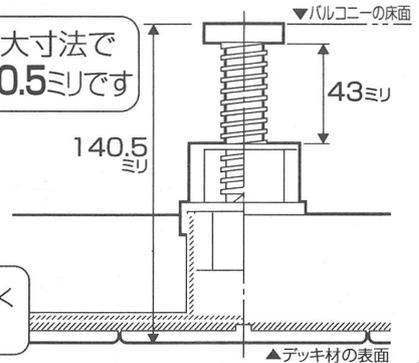


② 支持脚の高さ調整範囲を覚えてください。

最小寸法で
97.5ミリです



最大寸法で
140.5ミリです



右に回すと低くなります。

左に回すと高くなります。

③ 例えばデッキ材の高さを110ミリにしたい場合

●調整寸法の出し方

デッキ材の
設定高さ

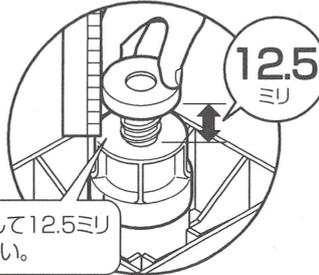
支持脚の
最小寸法

調整寸法

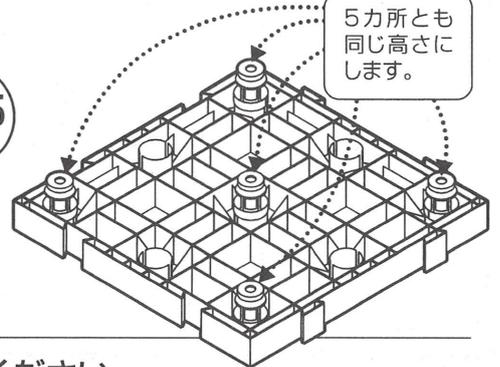
$$110\text{ミリ} - 97.5\text{ミリ} = 12.5\text{ミリ}$$

つまり、110ミリにしたい場合は12.5ミリ出せばいいわけです。

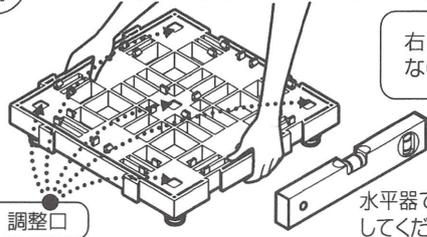
支持脚を回して12.5ミリ出してください。



5カ所とも
同じ高さに
します。



④ ベース材を表にして表面の調整口より微調整してください。



右に回すと高くなります。

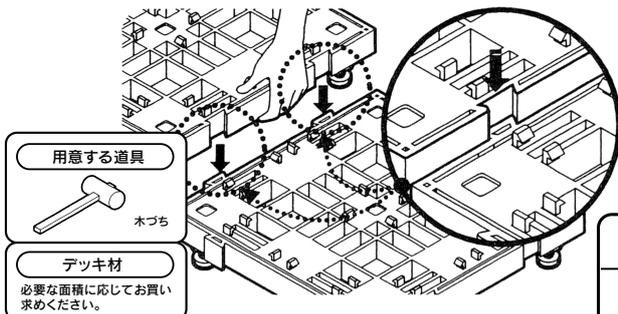
左に回すと低くなります。



デッキ材の組合せ方

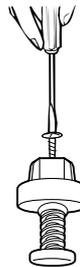
① ベース材のジョイント部分の凸部と凹部を合わせて連結します。

(ジョイントはきつめに設定されています。)



② 支持脚ゆるみ止め

床レベル調整後ゆるみ止めのためのビスを、支持脚脳天からプラスドライバーでビス止め



③ 全体的にガタつきがないように高さを調整した後、化粧板をベース板に取付け、あて板をして木づちでたたいてはめ込みます。



デッキ材が水平でなかったり、ガタついてたら…

- 支持脚の高さ調整を再度行ってください。
- 適切な部分に支持脚が取付けてあるか確認してください。
- 支持脚をベース材にしっかりとめ込んでください。
- 化粧材とベース材をしっかりとめ込んでください。